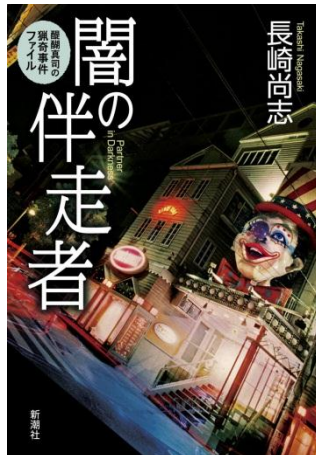


新着情報

ドラマ

土曜オリジナルドラマ
連続ドラマW 闇の伴走者2015年4月放送予定
毎週土曜夜10:00

長崎尚志『闇の伴走者—醍醐真司の猟奇事件ファイル—』(新潮社刊)

伝説の漫画家が遺した未発表原稿に迷宮入り失踪事件の謎が潜んでいた！
元警察官と漫画編集者の異色コンビが、その漫画の画稿から犯人を手繰り寄せて行く！

<概要>

『MASTERキートン』などの漫画原作・脚本の長崎尚志による傑作ミステリー小説をWOWOWでドラマ化することが決定した。ドラマの中に登場する漫画は、「コミポ！」の開発にも携わるなど幅広く活躍している漫画家の田中圭一が手掛け、さらに脚本は、「攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX」などの佐藤大が担当。そして、『僕等がいた』『ホットロード』など恋愛映画の旗手、三木孝浩が初のミステリー作品で連続テレビドラマに挑む。漫画の虚構の世界と、リアルなドラマの世界が融合した、未だかつて観たことのない異色のクライムミステリーのドラマがWOWOWで誕生する！

<あらすじ>

漫画界の巨匠・阿島文哉の一周忌に50枚の未発表画稿が発見された。作画は阿島そのものだが、35年前の連続女性失踪事件を彷彿とさせる謎の多い内容だった。阿島夫人は、本当に阿島が描いた画稿なのか調べるようアジマプロの部長・小澤に指示を出した。調査会社から派遣されて来た元警察官の優希は、漫画編集者で知識が豊富な醍醐に協力を求めた。醍醐は、画稿の背景やシャドーの描き方、ペンやスクリーントーンの種類などから描かれた年代と作者を割り出して行く。

作者が阿島ならば迷宮入り事件の真犯人ということなのか？ 別の人物ならば一体なんの目的で描かれたものなのか？

やがて、漫画の中に隠された、想像を絶する哀しくも恐ろしい連続殺人犯の手がかりが潜んでいる事に気づいてしまう！

その真相、正体とは？ 2人は、ぶつかり合いながらも命を張って事件の謎を解き明かして行く！

番組特設サイト：wowow.co.jp/dramaw/bansosha

原作：長崎尚志『闇の伴走者—醍醐真司の猟奇事件ファイル—』(新潮社刊)
 監督：三木孝浩(『ソラニン』『僕等がいた(前・後篇)』『ホットロード』)
 脚本：佐藤大(『カウボーイビバップ』『攻殻機動隊STAND ALONE COMPLEX』『交響詩篇エウレカセブン』)
 阿相クミコ(『残念な夫。』『連続ドラマW 鍵のない夢を見る〜石路南地区の放火』『マルモのおきて』)
 漫画担当：田中圭一(『神罰』『ペンと箸』『うつヌケ〜うつトンネルを抜けた人たち〜』)
 伊藤間二(『富江』『うずまき』『ギョ』)
 音楽：グランド・ファンク(『ホットロード』『SPEC〜警視庁公安部公安第五課未詳事件特別対策係事件簿〜シリーズ』『告白』)
 プロデュース：喜多麗子(『連続ドラマW 天使のナイフ』『眠れる森』『WITH LOVE』)

出演：キャストの詳細は後日発表いたします。

■番組に関するお問い合わせ

WOWOW TEL: 03-4330-8087 FAX: 03-4330-8156 宣伝部 廣瀬(r.hirose@wowow.co.jp)、北澤(y.kitazawa@wowow.co.jp)

◆コメント

<原作：長崎尚志（ながさき たかし）>

映像化不可能だと思っていたのですが、本当に出来ちゃうんですね。楽しみです。

プロフィール

作家・漫画原作者・編集者。週刊漫画雑誌編集長を経て、2001年フリーに。著書に『アルタリタハー～東方見聞録奇譚～』（講談社刊）。漫画原作・脚本に『MASTERキートン』『MASTERキートンReマスター』（浦沢直樹）。リチャード・ウー名義で『クロコーチ』（コウノコウジ）、『アブラカダブラ～猟奇犯罪特捜室～』（芳崎せいむ）等多数。

<監督：三木孝浩（みき たかひろ）>

僕にとって初めてのサスペンス・ミステリーで非常にワクワクしてます。長崎さんの圧倒的な知識と筆力で描かれた漫画業界の光と影。幻の原稿に隠された未解決事件の謎を解くというこの一風変わったミステリーの裏側には、底の見えない深淵なる闇があり、その魅力にすっかり引き込まれてしまいました。本作を監督するにあたり、その闇に臆することなく思いきりダイブして、この作品の核を掴み取りたいと思います。

プロフィール

1974年生まれ。映画監督。数百本のミュージックビデオを監督し、カンヌ国際広告祭 2009 メディア部門金賞/サイバー部門銅賞などを受賞。以降、ショートムービー、ドラマ、CM等、活動を広げる。主な映画監督作品に『ソラニン』『僕等がいた（前・後篇）』『陽だまりの彼女』『ホットロード』『アオハライド』他。最新作映画『くちびるに歌を』が公開待機中。

<脚本：佐藤大（さとう だい）>

漫画という誰でも知っている題材を中心にしながら誰もみたことのない新しいタイプのミステリー。そんな刺激的な原作の魅力を損なう事なく、連続ドラマにしか出来ない展開とツイストで描きます。普段、知る事の出来ない漫画家と編集者の関係や出版業界のリアルな裏側を知る知的好奇心と共に、謎へ迫っていく凛々しい優希とマニアな醍醐という凸凹コンビの誕生を楽しんでください。

プロフィール

1969年生まれ。脚本家。主に放送構成・作詞の分野でキャリアをスタート。現在はアニメーションの脚本執筆を中心に、さまざまなメディアでの企画、脚本などを手がけている。アニメーション代表作品に「カウボーイビバップ」「攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX」「交響詩篇エウレカセブン」「東のエデン」「スペース☆ダンディ」など他多数。さらにゲーム「バイオハザード リベレーションズ」の脚本や、TVドラマ「ノーコン・キッド」の原案・脚本なども手がける。

<漫画担当：田中圭一（たなか けいいち）>

本ドラマで「天才マンガ家の遺した謎の原稿」を担当させていただくことになりました。原作を読んでみて、「マンガ界の巨匠たちとライバル関係だったマンガ家、その天才的な筆致は…」という設定に背筋が寒くなりました。そんな「マンガ界のモノマネ芸人」である私に描けるの？しかし、これに挑まなければマンガ家として「負け」になる、そういう気持ちで執筆することにしました。80年代に描かれたであろうという設定の原稿なので、あの当時にしか使われていなかった道具を揃えて、80年代風の筆致も完全再現いたしました。今では、この原稿がドラマをいっそう面白く引き立ててくれるのではないかと自信を持っています。

プロフィール

1962年生まれ。大阪府出身。手塚治虫タッチのパロディー漫画『神罰』がヒット。著名作家の絵柄をまねたシモネタギャグを得意とする。また、デビュー当時からサラリーマンを兼業する「二足のわらじマンガ家」としても有名。

<漫画担当：伊藤潤二（いとう じゅんじ）>

プロフィール

1963年岐阜県生まれ。1986年、朝日ソノラマ「月刊ハロウィン」にて、「富江」が第1回楳図賞の佳作に入選しデビュー。代表作「富江」シリーズ、「うずまき」「ギョ」「首吊り気球」など。